

# 足立区議会議員選挙 子育て政策調査

## 1. 遊び場について

千葉大学の研究で小学生の約8割が平日に一度も外遊びができないと回答しています。  
足立区は公園が他の区に比べ多くありますが、こどもたちが活用できていないという実態もあります。  
こどもたちの遊びに大切な「時間、空間、仲間」を増やしていきたいと考えていますか？



土屋 のりこ  
無所属(42歳)



絶対に増やす



増やしたい



あまり増やす気はない



増やす気はまったくない



石毛 かずあき  
公明党(53歳)



絶対に増やす



増やしたい



あまり増やす気はない



増やす気はまったくない

江北では、健康をテーマとしたまちづくりに取り組み、その中で高齢者の方が安心して散歩ができるスペース。  
小さなお子様が保護者の方と一緒にボール遊びができるスペース。  
中高学年が体いっぱい動かせるスペース。  
障害をお持ちになる子がインクルーシブ遊具で遊べるスペース。  
これからもこうした公園整備に取り組みます。



しぶや 竜一  
自由民主党(31歳)



絶対に増やす



増やしたい



あまり増やす気はない



増やす気はまったくない



ぬかが 和子  
日本共産党(59歳)



絶対に増やす



増やしたい



あまり増やす気はない



増やす気はまったくない

常設のプレイパークの設置と充実。ボール遊びのできる公園を1小学校に一カ所以上もうけることを求め、提案しています。



きたがわ 秀和  
日本共産党(54歳)



絶対に増やす



増やしたい



あまり増やす気はない



増やす気はまったくない

全公園にトイレの設置を推進、トイレは人権の立場で



西の原 えみ子  
日本共産党(63歳)



絶対に増やす



増やしたい



あまり増やす気はない



増やす気はまったくない



横田 ゆう  
日本共産党(62歳)



絶対に増やす



増やしたい



あまり増やす気はない



増やす気はまったくない

中学校区に一つ程度のボールの使える公園や広場を作っていきたい。



小林 ともよ  
日本共産党(49歳)



絶対に増やす



増やしたい



あまり増やす気はない



増やす気はまったくない

学校区に一つボール遊びができる公園を設置する



西の原 ゆま  
日本共産党(30歳)



絶対に増やす



増やしたい



あまり増やす気はない



増やす気はまったくない



長井 まさのり  
公明党(60歳)



絶対に増やす



増やしたい



あまり増やす気はない



増やす気はまったくない

ボール遊びができる空間を増やしていきたい。安全で安心なインクルーシブな遊具の設置。



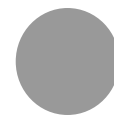
岡安 たかし  
公明党(59歳)



絶対に増やす



増やしたい



あまり増やす気はない



増やす気はまったくない

プレイリーダー(大人)の元で様々な遊びの場やノウハウを提供していく



山中 ちえ子  
日本共産党(54歳)



絶対に増やす



増やしたい



あまり増やす気はない



増やす気はまったくない

最低、学区区に一つはボール遊びできる公園をつくることを、パークイノベーション計画に位置付けるべきと求めています。今の区の計画は区を17に分けた地域に一つだけしかボール遊びコーナーをつくらない、というものです。だから、今年の新年度予算案に、コロナ新型ウイルスで痛んでる子供たちの元気を応援する一つとして、まずは住民合意もある2つのボール遊びコーナーをつくる事業を盛り込み求めました。68学区区中47学校も、一つもボール遊びコーナーの無い公園があるのです。予算特別委員会でもこれを求めましたが、答弁は「それだけの整備をするための財源はない」というものでした。わずかな予算でできるのに冷たい答弁です。その一方で、ため込み基金はコロナが124億円ほども積み増し1807億円、全国で4位の金額。そして要望の無い大型開発には原則を踏みにじて予算を補正予算で当初予算の2倍以上に増額しました。私はこの子供たちの元気をわずかな予算で応援できるのにやらない、冷たい区政を変えていきます。がんばります。



大竹 さよこ  
公明党(53歳)



絶対に増やす



増やしたい



あまり増やす気はない



増やす気はまったくない

安全でインクルーシブな遊具と、安全な遊び方を教えてくれるボランティア制度の実施などを検討したい。併せて、災害時で公園に期待される広い空間の確保などとの両立や、周囲の住民の方々などのご理解を得られるような騒音対策などにも配慮していきたい。



佐藤 あい  
無所属(38歳)



絶対に増やす



増やしたい



あまり増やす気はない



増やす気はまったくない

ボール遊びができる公園を増やす



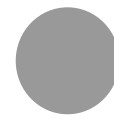
中島 こういちろう  
都民ファーストの会  
(35歳)



絶対に増やす



増やしたい



あまり増やす気はない



増やす気はまったくない

子どもたちは遊びの中から多くのことを学びます。だからこそ、子どもたちの一番身近な遊びの場である公園の整備は非常に重要です。現状の公園は、ボールが使えない、騒ぐと怒られるなど多くの制約が多く、子どもたちが公園でのびのびと遊んで学べる環境とは言えません。ボールが使える公園を増やすとともに、子どもたちの発想力を伸ばす遊びの環境を私は整えたいと考えています。例えば、障がいがある子もいない子もともに遊べる遊具(車いすでも遊べる遊具や体幹の弱い子でも遊べるブランコなど)の入ったインクルーシブ公園を足立区でも推進してきました。また、子どもたちが自由な発想で遊ぶことができるプレーパークの支援も行ってきました。こうした環境の整備を更に進めることで子どもたちの遊びの環境を支援していきます。



和田 あいこ  
立憲民主党(38歳)



絶対に増やす



増やしたい



あまり増やす気はない



増やす気はまったくない



吉田 こうじ  
公明党(64歳)



絶対に増やす



増やしたい



あまり増やす気はない



増やす気はまったくない

区立総合スポーツセンター公園を現在ユニバーサル遊具を設置したバリアフリーの公園にさせていただいております。私が特別委員会等でお願  
いしている計画です。

障害を持つお子様の保護者の皆様のお声を頂き進めている事です。  
全てのお子様達が楽しく遊べる公園をもっと区内に増やしたいと考えています。



佐々木 まさひこ  
公明党(66歳)



絶対に増やす



増やしたい



あまり増やす気はない



増やす気はまったくない

足立区ではパークイノベーション計画の中で、こどもが思い切り遊べる公園、高齢者が健康づくりに通える公園など、特色のある公園の配置を  
進めるとしています。  
この計画の推進を後押ししたいと考えます。併せて、安全でインクルーシブな遊具と、安全な遊び方を教えてくれるボランティアの制度の実施な  
ども必要と考えます。



加地 まさなお  
参政党(48歳)



絶対に増やす



増やしたい



あまり増やす気はない



増やす気はまったくない

足立区は23区の中でも公園の数が多く、面積も広いです。ボールが使えない場所も多い為、その地区、その地区のニーズを確認して子供達が  
遊ぶ場所を増やしたいです。



みやじま えりか  
無所属(40歳)



絶対に増やす



増やしたい



あまり増やす気はない



増やす気はまったくない

### その① 学校のこと

・特別支援教育の拡充とインクルーシブ教育の推進  
全ての子どもたちの選択肢を増やし、どんな人も排除されない社会を目指す

・教員の負担軽減、長時間労働解消  
教員達が勤務時間を”子どもたちのため”の時間として使うことができる体制づくり

・不登校児童の思いを尊重できる居場所づくりと学びの保障  
誰もが安心できる第三の居場所と学校へ行かなくてもいつでも学べる環境づくり

・小学校給食費無償化  
学校給食が食育ならば無料でなければおかしい！

・安心安全の給食  
オーガニック給食の推進

...

### その② 子育てのこと

・子育てサービスをもっと充実、届きやすく  
アプリで全てのサービスを簡単に使えるようにしたい！

・1歳までのオムツ無償化  
子どもに優しい兵庫県明石市でできたのだから足立区でも！

・子育て世代がちゃんと繋がれる地域のコミュニティづくり  
思わず参加したくなるようなイベントやマルシェで、繋がりが地域の活気を取り戻したい

...

### その③ 貧困問題や不景気対策のこと

・貧困対策の支援の拡充  
隠され見えにくい貧困こそ多角的視点で支援することが必要！

・社会情勢により所得制限などを設けない柔軟な支援  
まずは物価高騰による支援の幅を広げたい！

・国民健康保険料の値下げ  
健康や命に関わる保険料を引き下げたい！

## 2. 多子世帯について

極端な少子化傾向の一方で、多子世帯の子育ての困難さが浮き彫りとなっています。  
現在、足立区では二人目以降の子育て支援が行われていますが、  
今後多子世帯の子育て支援をさらに行いたいと考えていますか？



土屋 のりこ  
無所属(42歳)



絶対に支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない



石毛 かずあき  
公明党(53歳)



絶対に支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない

0歳から2歳児の第二子の保育料の無償化を 10月に実施・実現します。



しぶや 竜一  
自由民主党(31歳)



絶対に支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない



ぬかが 和子  
日本共産党(59歳)



絶対に支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない

子どもの紙オムツを毎月宅配して、アウトリーチ支援を行いたい。すでに財源も示して提案しています！



きたがわ 秀和  
日本共産党(54歳)



絶対に支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない

小学校の給食費の無料化早期実現、国保料の均等割り軽減など



西の原 えみ子  
日本共産党(63歳)



絶対に支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない



横田 ゆう  
日本共産党(62歳)



絶対に支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない



小林 ともよ  
日本共産党(49歳)



絶対に支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない



西の原 ゆま  
日本共産党(30歳)



絶対的に支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない



長井 まさのり  
公明党(60歳)



絶対的に支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない

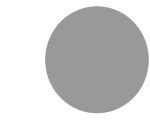


必要ない

多子世帯向けの負担軽減策を都や国の財源も活用し、充実させていきたい。



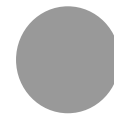
岡安 たかし  
公明党(59歳)



絶対的に支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない

児童手当の多子世帯への増額



山中 ちえ子  
日本共産党(54歳)



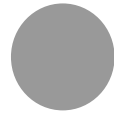
絶対的に支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない

子どもが増えると直、人頭税のように均等割りが加わり国保料が値上がる。この均等割りを廃止にします。多子世帯にかかわらず、産後ケア、産後検診が安心して受けれるように負担軽減をする。保育料、授業料の負担軽減、大学の入学金制度をなくす。



大竹 さよこ  
公明党(53歳)



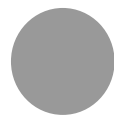
絶対的に支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない

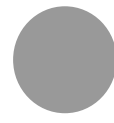
妊娠時からの相談体制の充実を更に図っていききたい。子育て費用は子供の数に応じて二倍、三倍とかかる。多子世帯向けの負担軽減策を、国や都の財源も活用し充実させたい。



佐藤 あい  
無所属(38歳)



絶対的に支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない



中島 こういちろう  
都民ファーストの会  
(35歳)



絶対的に支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない

子どもを望んでいても、持てない理由の一番は経済的な理由です。だからこそ、徹底した子育て支援策で負担を減らすことが重要です。都民ファーストの会では、今年より第二子の保育料無償化を提案し今年より実現することとなりました。また私自身も区議会において多子世帯の支援に関してその支援の必要性を取り上げました。多子世帯への経済的な負担を減らす支援は勿論のこと、子育てをする環境への支援。区有施設の多子世帯へのサポートや育てやすい環境を足立区としても支援することが大切だと考えます。



和田 あいこ  
立憲民主党(38歳)



絶対的に支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない



吉田 こうじ  
公明党(64歳)



絶対的に支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない



佐々木 まさひこ  
公明党(66歳)



絶対的に支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない

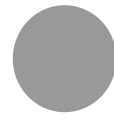
足立区ではASMAP事業で妊娠時から困難を抱える世帯への支援を行っていますが、これをさらに充実して多子世帯への支援や相談体制の充実、子育てに係わる費用の負担軽減は足立区単独では難しい面もあるため、東京都や国とも連携して、財政面での支援を訴えていきたいと考えます。



加地 まさなお  
参政党(48歳)



絶対的に支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない

支援をする事も大切ですが、減税政策で公正に皆さんの家計を応援する事を考えています。



みやじま えりか  
無所属(40歳)



絶対的に支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない

上記

### 3. いじめについて

足立区ではいじめの認知件数が少しずつ減少している状況にはありますが、まだまだ多くの子どもたちが苦しんでいます。そのような子たちをさらに減らすために、さらなるいじめ対策を行いたいと考えていますか？



土屋 のりこ  
無所属(42歳)



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



石毛 かずあき  
公明党(53歳)



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

公明党は2013年9月に「いじめ防止対策推進法」を推進しました。いじめの疑いがあれば、速やかに調査組織を設けて事実関係を明らかにするよう学校や教育委員会に求めています。この調査が遅れるなど適切に対応されない事例が相次いでいます。学校現場では、スクールカウンセラーの配置などがいじめの早期発見、解決につながっていると考えます。こうした取り組みをより一層充実していくことが必要です。また、いまだに取り返しのつかない事態になるまで問題が発覚しないケースがあることも深刻に受けとめる必要があり、保護者の皆様が安心してお子さんを預けられる学校づくりや努力を怠ってはならないと考えます。



しibusawa 竜一  
自由民主党(31歳)



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



ぬかが 和子  
日本共産党(59歳)



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

1.いじめをなくし、ゆきとどいた教育のためにも何としても少人数学級を実現したい。  
2.支援を要する子どもや困難をかかえる子どもが、不理解や心ない言動でいじめにつながることもあり、多様性、みんなを尊重しあえる教育を実現したい。足立区内の一部の中学校では、命の尊厳を学ぶ包括的な性教育が行われており、その学校の授業のあとは、子どもたちが落ち着き優くなる結果も出ています。そういった教育の実践を広げていきたいです



きたがわ 秀和  
日本共産党(54歳)



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



西の原 えみ子  
日本共産党(63歳)



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



横田 ゆう  
日本共産党(62歳)



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

さらなる少人数学級の実現をはかること、教員の定数改善を行い、子どもに目が届く体制を国や都に求めていく。



小林 ともよ  
日本共産党(49歳)



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



西の原 ゆま  
日本共産党(30歳)



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



長井 まさのり  
公明党(60歳)



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

一人ひとりに寄り添う、いじめの相談窓口の更なる拡充。外部機関を活用し、教員等の負担軽減を推進。



岡安 たかし  
公明党(59歳)



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

子ども主導のいじめ対策



山中 ちえ子  
日本共産党(54歳)



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

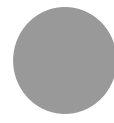
教員の働き方を劣悪にしていく、この間の政治を変えて、教員の授業準備時間を増やしていく、教員を増やしきめ細かく子供たちの状態を見ることができる環境をつくる。余裕のある授業ができるようにする。20人ほどの少人数学級をとりわけ中学校の少人数学級がまだ一つもされていないため実現させていきたい。



大竹 さよこ  
公明党(53歳)



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

未然防止に向けた人の痛みを理解する教育の充実。被害発生時に事実関係を迅速かつ適正に把握するための外部機関の活用。精神的被害のケアの回復を第一とする児童・保護者への支援の充実。さらに、被害児童が転校することなどでは問題の解決とはならないことを、学校関係者間で共通して認識できるよう推進したい。また、外部機関の活用は、教員等の負担軽減の点から必要であり、適正な活用策を現場教員の理解も得ながら推進したい。



佐藤 あい  
無所属(38歳)



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

どんなものがいじめになるのか、学びの機会を。



中島 こういちろう  
都民ファーストの会  
(35歳)



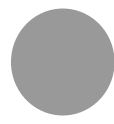
絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

こども家庭庁の設置に伴い、いじめ防止アドバイザーなど学外からのいじめ防止策の検討は今後進みます。学外から支援を足立区政で進めるのは勿論のこと、私は子どもの親同士が顔の見える関係をつくることも一部のいじめの抑止に繋がると考えます。だからこそ自然と親同士が話す機会や場を、学校や地域の中でのつくる取組みも増やしていきたいと考えています。



和田 あいこ  
立憲民主党(38歳)



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない





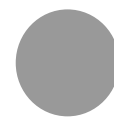
吉田 こうじ  
公明党(64歳)



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

いじめはいじめている側が 100%悪いことであるということ子ども達自身で気付いて貰えるような教育がまずは大切だと思います。色々な人や考え方を認め合えるよう、繰り返し周知していくべきだと思います。まずは大人達が見本を示せるような多様性社会を築いて行けるよう具体的に提案していきます。



佐々木 まさひこ  
公明党(66歳)



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

いじめをエスカレートさせないための教育、いじめられていることを他者(友達、親、教員等)に告げやすいクラス的环境、いじめは絶対悪であるという子どもたちへの意識の醸成などが必要と考えます。以前、辰沼小学校で実施されていた辰沼キッズレスキューのような活動も有効な方法と考えています。いじめアンケートだけでは、いじめは見つけれないとの意識を教員の側も持って、子どもの様子を注意深く見守ることも大切であると考えます。また、被害発生時に事実関係を迅速かつ適正に把握するための外部機関の活用。精神的被害のケアの回復を第一とする児童・保護者への支援の充実も必要と考えます。



加地 まさなお  
参政党(48歳)



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

参政党アドバイザーにはいじめ問題に取り組んでいる加藤秀視さんがいます。今の学校の現状、いじめが起きる根本原因を考えて子供達を守っていきたいと思っています。



みやじま えりか  
無所属(40歳)



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

#### 4. 不登校について

足立区では、令和3年度の不登校児童・生徒数は996人であり前年度と比べ19名増えています  
(こども支援センターげんき)。

個に応じた不登校対策など、不登校に対する認識や対応が大きく変わっている中、  
これらの拡充や新たな対策支援を行いたいと考えていますか。



土屋 のりこ  
無所属(42歳)



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



石毛 かずあき  
公明党(53歳)



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

不登校の児童や生徒に対する学びの場を提供し、進学や就職の希望を叶える環境整備する必要があると考えます。  
不登校特例校は、子どもたちに合わせたカリキュラムを柔軟に組めることや、オンライン授業などを活用し、進学でも成果を上げていることから、充実を図るべきと考えます。



しぶや 竜一  
自由民主党(31歳)



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



ぬかが 和子  
日本共産党(59歳)



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

発達障がいな困難をかかえる子どもが、不登校になるのは、心がしめつけられます。まずは一人ひとりが大切にされ、自己肯定感をもてる教育をめざします。同時に不登校になった場合の居場所対策を一步ずつすすめてきましたが、学校と家庭以外の、第三の居場所、フリースクール的な居場所を公の責任で増やしていきます。また、親の悩みに応え不登校児童をもつ親同士が交流出来る場を私は求めて、実現しましたが、充実していきます。



きたがわ 秀和  
日本共産党(54歳)



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

学校、教育委員会などの相談窓口設置、



西の原 えみ子  
日本共産党(63歳)



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



横田 ゆう  
日本共産党(62歳)



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

保護者やこどもが気軽に相談できる窓口や担当部署をつくること。学校に行かれないこどもが通える施設を作り、職員を配置して学習や運動できる場をつくる。



小林 ともよ  
日本共産党(49歳)



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

子どもたちに寄り添える教育現場に変え、少人数学級で生徒と先生の心の通った教育が行なえるようにする。



西の原 ゆま  
日本共産党(30歳)



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



長井 まさのり  
公明党(60歳)



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

更なる別室登校支援やチャレンジ学級の拡充、フリースクールの活用など



岡安 たかし  
公明党(59歳)



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

フリースクールへ通う場合の支援、チャレンジ学級や居場所を兼ねた学習支援の場の拡充



山中 ちえ子  
日本共産党(54歳)



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

本当のフリースクールを川崎市に見習って体制をつくりたい。前項の回答も重なる。



大竹 さよこ  
公明党(53歳)



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

より児童・生徒にとって通いやすくなるための学校の改善も重要と思うが、学校関係者の努力だけでは、解決しないと考える。フリースクールなどの活用も必要だと思う。教員の努力だけに頼らない訪問型の支援の充実やオンライン授業の活用など、多様な学びを保障する仕組みを東京都と連携して進めていきたい。



佐藤 あい  
無所属(38歳)



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



中島 こういちろう  
都民ファーストの会  
(35歳)



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

不登校児童の支援の拡充を行います。現在、子ども支援センターげんきは梅島・綾瀬・竹の塚の区内 3拠点のみとなり、不登校児童の近隣地域に通える。  
もしくは居場所となる可能性のある場所が広い足立区で 3か所のみという事実の問題があると感じています。拠点を増やすのは勿論のこと、無理に学校に戻そうとする支援だけでなく、不登校児童が社会や人と繋がる。繋がりたいと思えるような子どもの居場所をつくるのが大切であり、活動をしているNPO団体との連携も必要不可欠と考えます。



和田 あいこ  
立憲民主党(38歳)



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



吉田 こうじ  
公明党(64歳)



絶対に行きたい



行きたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

不登校状態にあるお子様達の学びを確保するために様々な受け皿を拡充して行けるよう要望してまいります。  
また、不登校はその家庭を支援していくことも大切であります。保護者の孤立を防いで、大丈夫という安心感を持っていただけるようこれまでも様々な提案して実現してきました。保護者の意見交換会や講演会等区に提案し、実現しています。  
そして、地域の皆様がサポートしていただいている取り組みも、その方々が孤独な取り組みにならないように「登校支援サポーター」の皆様の意見交換会や講演会も提案し実現しています。



佐々木 まさひこ  
公明党(66歳)



絶対に行きたい



行きたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

コロナ禍で登校しなくてもよい期間があったことなど、いじめなどのはっきりとした原因のない「なんとなく学校にいけない」という不登校が増えてきていることを心配しています。  
基本的には登校サポーターなど早期に働きかけを実施していくことが重要と考えます。  
また、フリースクールなど公的な活用を推進すべきと考えます。公明党の推進により、都ではフリースクール利用者への助成金を令和5年度から倍増させましたが、この点も、国や都とも連携し、経済的支援を強めるとともに、教員負担だけに頼らない訪問型の支援の充実。不登校経験者などによるピアカウンセリングの活用を推進したいと考えます。



加地 まさなお  
参政党(48歳)



絶対に行きたい



行きたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

足立スタンダードの弊害で苦しんでいる子供達に通えるフリースクールを考えています。現状のフリースクールは金銭面で通わせられない等の話を伺っています。しっかり調べて子供達の選択肢を増やしたいです。



みやじま えりか  
無所属(40歳)



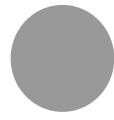
絶対に行きたい



行きたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

上記

### 5. 外国人の子育てについて

外国にルーツをもつ子どもの数が年々増えている一方、日本での子育てに不安を抱いている現状があります。

足立区では、日本語学習支援事業を委託して実施していますが、

外国人の子育てについて、これらの拡充や新たな支援を行いたいと考えていますか？



土屋 のりこ  
無所属(42歳)



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



石毛 かずあき  
公明党(53歳)



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

外国籍の子育て支援をする上で大事なものは、外国籍の保護者が安心して働き、暮らせるための施策に取り組まなければならないと考えます。

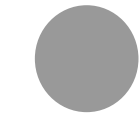
また、生活相談に応じる異次元的な窓口の設置が必要です。

そして、足立区内に在住の外国籍の方にも積極的に協力してもらう体制を整えていくことが必要と考えます。

日常生活の中で、地域との交流によって、分かりやすい言葉とひらがなを多用する「やさしい日本語」を広げるといった取り組みも必要であり、暮らしの安心を確保することが必要と考えてます。



しぶや 竜一  
自由民主党(31歳)



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



ぬかが 和子  
日本共産党(59歳)



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

私は、日本語教育を考えるつどいにも参加してきました。外国にルーツをもつ子どもだけでなく、その親の支援も充実していきたいです。



きたがわ 秀和  
日本共産党(54歳)



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



西の原 えみ子  
日本共産党(63歳)



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



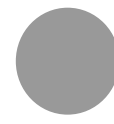
横田 ゆう  
日本共産党(62歳)



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



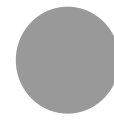
小林 ともよ  
日本共産党(49歳)



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



西の原 ゆま  
日本共産党(30歳)



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



長井 まさのり  
公明党(60歳)



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

効果的な日本語教育の推進と環境整備。



岡安 たかし  
公明党(59歳)



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

日本語学習支援事業の拡充



山中 ちえ子  
日本共産党(54歳)



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



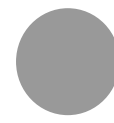
大竹 さよこ  
公明党(53歳)



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

区では外国籍の方へのアンケートを行い、具体的お困りごとなどの調査をもとに、区独自の支援策を行うと聞いている。その中に外国にルーツを持つ子どもの困りごとなどの対応した支援策について、推進すべきと考える。また、通常学級以外での効果的な日本語教育の推進を図り、子どもたちの夢や希望を実現し、社会的にも有為な人材と育つ環境を充実させていきたい。



佐藤 あい  
無所属(38歳)



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



中島 こういちろう  
都民ファーストの会  
(35歳)



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

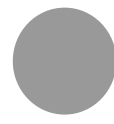
外国にルーツを持つ子どもや外国人の子育ての一番の苦労は文化の差異と言葉の壁と認識しています。特に言葉の壁は明確で言葉が通じないことから起因するコミュニケーション齟齬や学習の遅延などから、問題が多重化していきます。通訳サポートの増員を含め細かいケアをする機会を増やす必要があると考えています。



和田 あいこ  
立憲民主党(38歳)



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

ホームページをご覧くださいませ。



吉田 こうじ  
公明党(64歳)



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



佐々木 まさひこ  
公明党(66歳)



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない

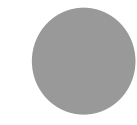


必要ない

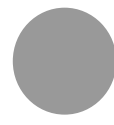
都では、公明党の推進により、日本語を母語としない児童・生徒に向けた日本語教育の専管組織を誕生させました。こうした機関と連携し、通常学級以外での効果的な日本語教育の推進を図り、こうしたお子さんが、ご本人の夢や希望を実現し、社会的にも有為な人材と育つ環境を、急ぎ充実させたい。



加地 まさなお  
参政党(48歳)



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

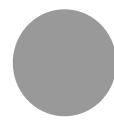
現状を把握できていません。ちゃんと確認してから考えたいと思います。



みやじま えりか  
無所属(40歳)



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

## 6. LGBTQ+について

認定NPO法人の調査によると、10代のLGBTQ+の48%が自殺念慮があるという結果があります。  
LGBTQ+の子どもたちが生きやすい環境づくりをしていきたいと考えていますか？



土屋 のりこ  
無所属(42歳)



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

自身がLGBTQ+に気がつくのが、小学校低学年から中学年に多いと聞いています。  
その子の気づきを尊重できる環境を整えていくことが大切であり、LGBTQ+の方にもご支援いただきながら、早い段階で相談に乗ってあげられる窓口の整備が必要と考えます。



石毛 かずあき  
公明党(53歳)



絶対に行いたい



行いたいと考えている



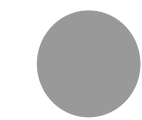
積極的に行おうと考えていない



必要ない



しぶや 竜一  
自由民主党(31歳)



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



ぬかが 和子  
日本共産党(59歳)



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

二年半前のLGBTで足立区滅びる発言は、絶対に許せません。私は、LGBT支援を、多様性尊重の立場から、繰り返し求めてきました。足立区の教育現場も大きく代わり、制服も今年一斉に変わりました。引き続き、多様性尊重の教育を求めてとりくみます



きたがわ 秀和  
日本共産党(54歳)



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

男女の賃金格差是正、トイレに生理用品設置、制服・名簿に男女の差をなくす



西の原 えみ子  
日本共産党(63歳)



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



横田 ゆう  
日本共産党(62歳)



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



小林 ともよ  
日本共産党(49歳)



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

幼少期から包括的性教育を充実させ、一人一人のいのちと人権の大切さを学び、分かち合う心を育む





西の原 ゆま  
日本共産党(30歳)



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



長井 まさのり  
公明党(60歳)



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

子どもたちが相談しやすい環境の整備。



岡安 たかし  
公明党(59歳)



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

小学1年生からの多様性を学ぶ総合学習



山中 ちえ子  
日本共産党(54歳)



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

包括的性教育、リプロダクティブ、ヘルス&ライツを全校に保障する。産婦人科女医、養護教諭と教員との連携ができる体制をつくり子どもたちがジェンダーを学べる環境を整える。



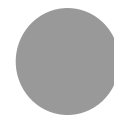
大竹 さよこ  
公明党(53歳)



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない

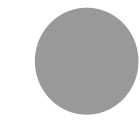


必要ない

強固な個人情報の保護を前提に、児童・生徒が相談しやすいSNS等を活用した垣根の低いウェブ相談体制を整え、そこから希望に応じてスムーズに対面支援にもつながるよう善処したい。この点でもピアカウンセリングが重要であり、孤立感から自暴自棄に陥らないよう環境を整えたい。



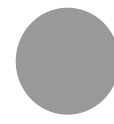
佐藤 あい  
無所属(38歳)



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



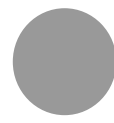
必要ない



中島 こういちろう  
都民ファーストの会  
(35歳)



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

LGBTQ+の子どもたちに限らず障がいがある子などマイノリティーな状態にある子ども達への支援が必要であると考えます。特に日本の教育は画一化されているケースも多く枠を設ける機会を学校現場でできる限り減らしていくことが生きやすい環境づくりに繋がると考えています。



和田 あいこ  
立憲民主党(38歳)



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



吉田 こうじ  
公明党(64歳)



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



佐々木 まさひこ  
公明党(66歳)



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

強固な個人情報の保護を前提に、児童・生徒が相談しやすいSNS等を活用した垣根の低いウェブ相談体制を整え、そこから希望に応じてスムーズに対面支援にもつながるよう善処したい。この点でもピアカウンセリングが重要であり、孤立感から自暴自棄に陥らないよう環境を整えたいと考えます。



加地 まさなお  
参政党(48歳)



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

現状把握をしっかりとしてから、慎重に考えたいと思います。



みやじま えりか  
無所属(40歳)



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

政策は考えていませんが必要なことだと思っています。

### 7. ひとり親家庭について

足立区では、ひとり親家庭への支援策として児童扶養手当や医療助成制度などの金銭面にとどまらず、サロンの木や豆の木メールなどひとり親が孤立せず周りに相談できる環境づくりに努めています。一方で行政の支援だけではなかなか手が届かず、孤立状態にあって子育てや生活に苦しんでいる家庭も多くあります。NPO等と連携して草の根の支援を行っていきたくと考えていますか？



土屋 のりこ  
無所属(42歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

地域で食の支援に取り組んでいます



石毛 かずあき  
公明党(53歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

ひとり親家庭支援の実施主体となる NPO団体については、資金の補助的な仕組みを行うことが大切と考えます。また、ひとり親家庭の実態を NPO法人から聞くことも大切です。そこで、都と国と連携をして支援に取り組んでいきたいと考えます。



しぶや 竜一  
自由民主党(31歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



ぬかが 和子  
日本共産党(59歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

NPOに委託した事業も見学させていただき、素晴らしいと感動しました。心ある方々と行政がもっとつながり、草の根支援が広がるように求めて行きます。



きたがわ 秀和  
日本共産党(54歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

支援のため補助金などの増額など



西の原 えみ子  
日本共産党(63歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



横田 ゆう  
日本共産党(62歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



小林 ともよ  
日本共産党(49歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

子どもたちの居場所づくりを充実させたい



西の原 ゆま  
日本共産党(30歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



長井 まさのり  
公明党(60歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

活動を支援する寄付金制度の創設など。



岡安 たかし  
公明党(59歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

子育てサロンの更なる拡充



山中 ちえ子  
日本共産党(54歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

まずは、貧困状態を是正させる。例えば、児童扶養手当が年収89万円で半分に減額される母子家庭の基準額。これでは、暮らしていけない。冷たすぎます。見直させる、区独自の継続した支援策を位置づけさせる。



大竹 さよこ  
公明党(53歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

私自身、7年前からこども食堂の顧問相談役を務め、現在ではひとり親家庭へのフードパントリーを行う任意団体と共に活動をしている。この活動を通じてひとり親家庭の困りごとや必要な支援について現場の声を聞き、区の施策に繋げている。一番必要な支援は、ひとり親家庭への情報提供だと考える。その点においてはフードパントリーはひとり親家庭の居場所となっており、食の支援を通じて孤立対策に繋がると考える。このような草の根の支援を行っていきたいと考える。同時にこうした活動に従事する関係者間でのキャリア・アップの仕組みなども検討したい。



佐藤 あい  
無所属(38歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



中島 こういちろう  
都民ファーストの会  
(35歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

足立区は他の行政と比較するとひとり親家庭への支援策に力を入れている感じます。しかし、行政の支援や接点だけが全てではなく、NPOの活動の方が細かく多様なニーズを賅っているケースが多いと考えます。足立区は NPO団体の連携があまり得意でないと考えるので、もっと連携しやすい仕組み  
例えば、官民協創プラットフォームなどを創り社会課題に対するアプローチの種類や選択を増やすことが必要と考えます。



和田 あいこ  
立憲民主党(38歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



吉田 こうじ  
公明党(64歳)



積極的にやりたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



佐々木 まさひこ  
公明党(66歳)



積極的にやりたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

ひとり親家庭などへの訪問支援は、政治的中立が大切な要件であり、それを担保するための積極的な情報公開(個人情報を除く)などを前提に、支援者に対する活動の場や経常経費支援、さらには、活動を応援する開かれた寄附や基金制度の創設を検討したい。加えてそうした活動を従事する関係者間でのキャリア・アップの仕組みなども検討したいと考えます。



加地 まさなお  
参政党(48歳)



積極的にやりたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

現状を確認してから考えたいと思います。



みやじま えりか  
無所属(40歳)



積極的にやりたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

NPOと連携ということがなぜ必要なのか、私の知識不足でよくわかりません。ひとり親世帯の問題は、行政で支援を拡充してやるべきことだと考えています。

8. ヤングケアラーについて  
 現在ヤングケアラーは中学2年生においては5.7%、  
 全日制高校2年生においては4.1%存在する実態があります(ヤングケアラーの実態に関する調査研究について)。  
 このようなヤングケアラーに対して支援を行いたいと考えていますか。



土屋 のりこ  
 無所属(42歳)



積極的にやりたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



石毛 かずあき  
 公明党(53歳)



積極的にやりたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

ヤングケアラーの認知度を高めて、ヤングケアラーを早期に発見し、適切な支援につなげていくことが必要と考えます。  
 また、学校などに専門のコーディネーターを配置し、ヤングケアラーの早期発見に向け、問題への理解を深めていくことが重要と考えます。



しぶや 竜一  
 自由民主党(31歳)



積極的にやりたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



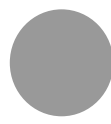
必要ない



ぬかが 和子  
 日本共産党(59歳)



積極的にやりたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

足立区は、実態調査を事実上拒否し、一部の調査しかしません。他の自治体でも、実態わかり前にすすんでいます。足立区でもしっかり実態をつかむことをまず求め、その上での施策展開を求めて行きます



きたがわ 秀和  
 日本共産党(54歳)



積極的にやりたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



西の原 えみ子  
 日本共産党(63歳)



積極的にやりたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



横田 ゆう  
 日本共産党(62歳)



積極的にやりたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



小林 ともよ  
 日本共産党(49歳)



積極的にやりたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



西の原 ゆま  
日本共産党(30歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



長井 まさのり  
公明党(60歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

児童・生徒が相談しやすい環境の整備。



岡安 たかし  
公明党(59歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

複数の部署や機関、専門家等で構成するヤングケアラー支援協議会を起ち上げる



山中 ちえ子  
日本共産党(54歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

教員の劣悪な働き方を是正させ生徒、児童の家庭の悩みに寄り添える状況をつくっていく。子供家庭支援センターと教育現場の連携体制を強める



大竹 さよこ  
公明党(53歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

介護保険制度などの既存の社会的支援の仕組みすら理解されていないケースが多い。まずは教員のヤングケアラーに対する周知を行っていくべきと考える。また教員以外の心理の専門家などが、授業や集団遊びの機会を観察し、早期に発見できる仕組みを講じたい。併せて、そのための財源を国や都から確保したい。また、児童・生徒が相談しやすいSNS等を活用した垣根の低いウェブ相談体制がこの点でも重要であり、ピアカウンセリングの努力も含め、充実を図りたい。



佐藤 あい  
無所属(38歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



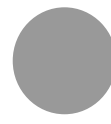
中島 こういちろう  
都民ファーストの会  
(35歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

ヤングケアラーの大きな課題は、自身に当事者意識がなかったり、公言することをためらうことによって、知らず知らずのうちに子供の多くの選択肢が狭められてしまうところにあります。本来的には学校がその支援の糸口になるはずですから、もっと実態を把握したり、本人を行政支援につなげていくためのフォロー体制が重要だと考えます。スクールソーシャルワーカーの連携強化によって行政支援に繋がる体制づくりに加えて、家事支援など介護負担の軽減策も実行していきます。



和田 あいこ  
立憲民主党(38歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



吉田 こうじ  
公明党(64歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

よく区内のヤングケアラーの数を調査すべきという事を言われている方もおられますが、ヤングケアラーの方を見つけ出すのはその家庭に踏み込むこととなりますので、まずは気軽に相談出来る体制を作ることが第一だと考えます。その環境に置かれている若者やお子様寄り添ったケースワークが重要だと思います。まずはその体制作りを要望してまいりたいと思っています。



佐々木 まさひこ  
公明党(66歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

足立区議会公明党はヤングケアラーの問題をいち早く議会で取り上げてきました。介護保険制度などの既存の社会的支援の仕組みすら理解されていないケースが多い実態があります。教員以外の心理の専門家などが、授業や集団遊びの機会を観察し、早期に発見できる仕組みを講じていきたい。併せて、そのための財源を国や都から確保したいと考えます。また、児童・生徒が相談しやすいSNS等を活用した垣根の低いウェブ相談体制がこの点でも重要であり、ピアカウンセリングの努力も含め、充実を図っていきたい。



加地 まさなお  
参政党(48歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

過去の事例、パーセンテージを調べて、何処に根本原因があるのかを把握して、具体的に考えたいと思います。



みやじま えりか  
無所属(40歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

政策はまだ考えていないが必要だと考えます。



9. 学童保育について

学童保育の待機児童や放課後格差が話題になる中、待機児童ランキング上位の足立区では補助の出ない民間学童に通う、隠れ待機児童家庭が400家庭を超えていると言われています。

他の自治体では民間学童に通う家庭に補助が出るなどの支援策がありますが、足立区でもそういった柔軟な子育て支援策を行いたいと考えていますか？



土屋 のりこ  
無所属(42歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

民設学童保育への補助額が低い事を指摘し、指定管理者への引き上げを実現しました



石毛 かずあき  
公明党(53歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



しぶや 竜一  
自由民主党(31歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



ぬかが 和子  
日本共産党(59歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

この間も、足立区の支援の基準から外れる心ある学童保育室の素晴らしい保育内容を委員会などで紹介し、支援を求めて来ました。引き続き求めます



きたがわ 秀和  
日本共産党(54歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

公立学童の増設、民間学童への財政補助、指導員の増員・待遇改善



西の原 えみ子  
日本共産党(63歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



横田 ゆう  
日本共産党(62歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

補助をさらに拡充するとともに、補助の出ていないところにも出るようにしたい。指導員の待遇が改善されるように取り組む。指導員が足りないと考えます。



小林 ともよ  
日本共産党(49歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



西の原 ゆま  
日本共産党(30歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



長井 まさのり  
公明党(60歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

都や国と連携し、財源の確保など。



岡安 たかし  
公明党(59歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



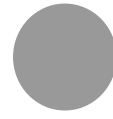
山中 ちえ子  
日本共産党(54歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

待機児を詰め込みで解決する弾力化は許されません。民間の学童への補助金も少ないこと取り上げてきました。コロナかも迫りましたが改善させようとしません。引き続き求めていきます。



大竹 さよこ  
公明党(53歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

フリースクール利用者への公的支援と同様に、この点でも、国や都と連携し、財源の確保を図ることが重要である。学童保育の活用は保護者の任意であるが、経済的理由から希望を実現できない状況を少しでも改善させたい。地域によっては学童保育室が足りないところがあると認識している。今後、こどもの数が少なくなることも鑑みながら、こどもを預けられなくて困る家庭が出ないような仕組みを現状の制度の中で作っていくべきだと考える。(放課後子ども教室の充実等)



佐藤 あい  
無所属(38歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

民間学童の自己負担金額を定め、超える部分は補助金を。



中島 こういちろう  
都民ファーストの会  
(35歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

足立区でも民間学童保育への補助を行うなどの柔軟な子育て支援策を必ず行うべきと考えます。任期中の4年間で足立区とも様々な交渉・議論を行ってきました。しかし現在の足立区の見解は民間学童保育は塾やスポーツクラブなど放課後の時間を過ごす場所との差別化が曖昧であると解釈しその支援が出来ていません。しかし他自治体では解釈の基準を明確に定義し、支援に乗り出している自治体もあるので足立区で出来ないはずはありません。私自身が東京都と連携できる強みを活かし、次の4年間では必ず民間学童保育への支援。もしくは子どもたちのための放課後の居場所づくり支援を更に推進していきます。



和田 あいこ  
立憲民主党(38歳)



積極的に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



吉田 こうじ  
公明党(64歳)



積極的にいきたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

今、私に切実なお声を頂いていることは、学童の延長保育についてです。ご両親がフルタイムでお勤めをしている家庭が増える中で子ども達の安全を守る事を早急に求めていきたいと思ひます。その中で民間の力と連携することは大切な取組であり、そのために予算をかける事も検討に値することだと思ひます。。



佐々木 まさひこ  
公明党(66歳)



積極的にいきたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

まずは区が運営する学童保育の定員増をきちんと図って行くことが先決と考へます。区は地域の定員予測を綿密に実施して、定員に余裕を持たせるべきと考へます。



加地 まさなお  
参政党(48歳)



積極的にいきたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

現状をしっかりと確認してから、考へたいと思ひます。



みやじま えりか  
無所属(40歳)



積極的にいきたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

この数字が本当ならやるべきと考へます。

## 10. 学校教育について

通知表や宿題に代表される、画一的な教育によって苦しんでいる子や、学校にいけなくなる子が増えています。こどもたち一人ひとりに合った学校教育を推進していきたいと考えていますか？



土屋 のりこ  
無所属(42歳)



絶対に推進していく



できれば推進したい



あまり推進する気はない



今のままでよい



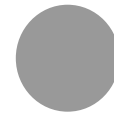
石毛 かずあき  
公明党(53歳)



絶対に推進していく



できれば推進したい



あまり推進する気はない



今のままでよい

学校が一人ひとりの生徒に合わせる教育スタイルを実践することが必要と考えます。地方の先駆的な取り組みを行っている不登校特例校があります。学級担任制ではなく、生徒が自ら担任を選ぶ個別担任制を引き、毎日登校、週に数日登校して、残りは、オンライン学習、家庭学習やオンライン学習のスタイルを1ヵ月程度で感じながら学びを進めています。また、出校時間は午前9時半で一般の学校に比べ少し遅く、下校時間も午後2時35分。授業は1日4コマで、総合的な学習の時間では、自分が行いたい学びに集中できるようです。下校前には「クールダウン」と呼ばれる面談時間を設けて、担任と1日を振り返るなどを行っています。「自分は自分でいいんだ」と肯定的に捉えることができる生徒が増えていると聞きます。こうした取り組みが必要と考えます。



しぶや 竜一  
自由民主党(31歳)



絶対に推進していく



できれば推進したい



あまり推進する気はない



今のままでよい



ぬかが 和子  
日本共産党(59歳)



絶対に推進していく



できれば推進したい



あまり推進する気はない



今のままでよい

学力テスト偏重の足立区の教育を変えて行きます。



きたがわ 秀和  
日本共産党(54歳)



絶対に推進していく



できれば推進したい



あまり推進する気はない



今のままでよい

少人数学級の推進、教職員の加配、個性・多様性が生かされる教育など



西の原 えみ子  
日本共産党(63歳)



絶対に推進していく



できれば推進したい



あまり推進する気はない



今のままでよい



横田 ゆう  
日本共産党(62歳)



絶対に推進していく



できれば推進したい



あまり推進する気はない



今のままでよい

画一的なのは学習指導要領が拘束力をもっているもので、そこを柔軟に学校として扱えるようにするのが、国としての方向です。教育委員会では、地域や学校の実情に合った教育を推奨して、特色のある教育を行える学校の自由な選択を取り入れるべきと考えます。「個性を生かす教育」は名ばかりで、学校や教師の個性を生かす方向でこそ生かされると思います。



小林 ともよ  
日本共産党(49歳)



絶対に推進していく



できれば推進したい



あまり推進する気はない



今のままでよい

ICTに頼るのではなく、少人数学級にして、より個人に寄り添える教育現場にしていくことが必要だと思います。



西の原 ゆま  
日本共産党(30歳)



絶対に推進していく

できれば推進したい

あまり推進する気はない

今のままでよい



長井 まさのり  
公明党(60歳)



絶対に推進していく

できれば推進したい

あまり推進する気はない

今のままでよい

自己肯定感をもって卒業できるよう、教育の充実を図りたい。



岡安 たかし  
公明党(59歳)



絶対に推進していく

できれば推進したい

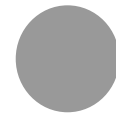
あまり推進する気はない

今のままでよい

フリースクールや不登校支援の NPO等と連携して多様な学びのスタイルの格立



山中 ちえ子  
日本共産党(54歳)



絶対に推進していく

できれば推進したい

あまり推進する気はない

今のままでよい

コロナか、詰め込み授業にならぬよう求めてきました。また、北欧のように学力競争主義を止め伸び伸びとした教育環境で「楽しい」学びができる教育へと国会でも都議会でも区議会でも求め続けている。新学期、入学した直後に学力テストがあることも問題視してきました。子どもたちの死因のトップが自殺。この状況をつくっている一つである教育行政は、ベネッセなどの大手教育産業を利する歪みを持ち込む、税投入ではなく、ICT偏重、過去問の繰り返しではなく、人間形成の学びがしっかりとできる温かい教育に転換させていく、全力で取り組みたい課題です。



大竹 さよこ  
公明党(53歳)



絶対に推進していく

できれば推進したい

あまり推進する気はない

今のままでよい

少子化の時代、どの児童・生徒も輝く社会とすることが重要。「競争」や数値による客観的な自己認識の必要性をすべて否定することは出来ないが、どの児童・生徒も在学期間を通じて、必ず何らか成功体験を掴み、自己肯定感をもって卒業できるよう、少子化の時代に適合した教育の充実を図りたい。



佐藤 あい  
無所属(38歳)



絶対に推進していく

できれば推進したい

あまり推進する気はない

今のままでよい



中島 こういちろう  
都民ファーストの会  
(35歳)



絶対に推進していく

できれば推進したい

あまり推進する気はない

今のままでよい

社会が多様化する今、数値で一面的に物事を図る通知表が時代にそぐわないものとなっています。私は通知表をやめた茅ヶ崎市立香川小学校を視察し、校長先生に話を聞いてきました。通知表という数値で表す評価の仕組みから、子どもたちの様子について面談で話す機会を増やしたとの話をお聞きし、足立区でも実現したいと考えています。個に合わせた教育に関しては、タブレット教育の導入の機会を活かし、個別最適化した学びの機会の創出をより一層進めていきます。



和田 あいこ  
立憲民主党(38歳)



絶対に推進していく

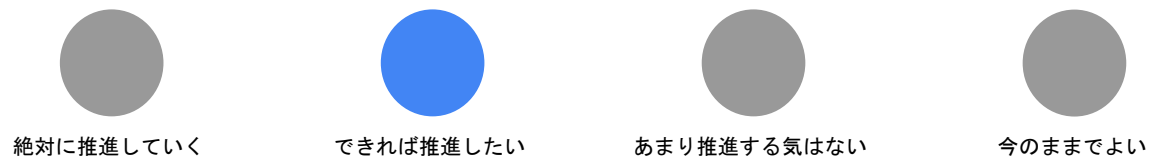
できれば推進したい

あまり推進する気はない

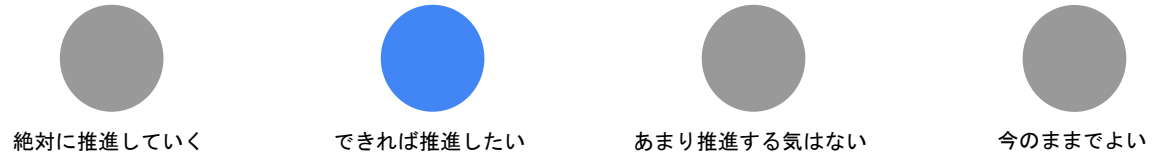
今のままでよい



吉田 こうじ  
公明党(64歳)



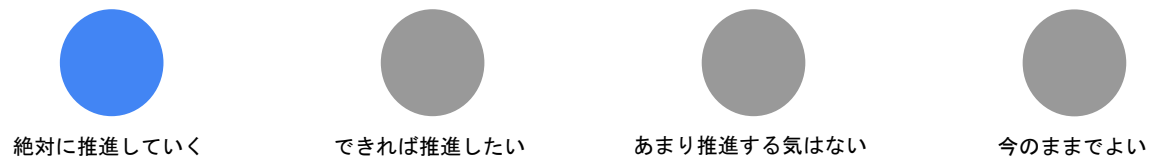
佐々木 まさひこ  
公明党(66歳)



少子化の時代、どの児童・生徒も輝く社会とすることが重要と考えます。「競争」や数値による客観的な自己認識の必要性をすべて否定することは出来ませんが、どの児童・生徒も在学期間を通じて、必ず何らかの点で成功体験を掴み、自己肯定感をもって卒業できるよう、少子化の時代に適合した教育の充実を図っていきたい。



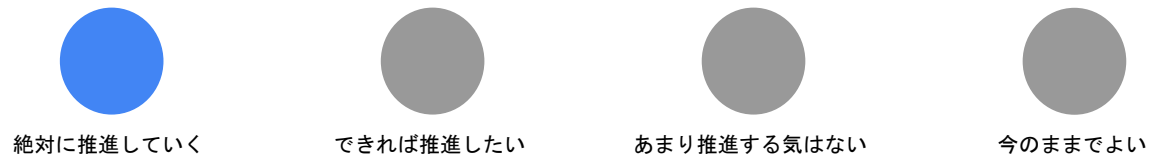
加地 まさなお  
参政党(48歳)



1人1人にあった教育には賛成ですが、現状把握をしてから考えたいと思います。



みやじま えりか  
無所属(40歳)



具体的政策はまだないが必要。通知表やテスト、宿題は個人的には無くしたほうが良いと考えています。

## 無回答者

新井 ひでお  
いいくら 昭二  
市川 おさと  
伊藤 のぶゆき  
井前 せいら  
太田 せいいち  
おぐら 修平  
かねだ 正  
銀川 ゆい子  
くじらい 実  
工藤 てつや

くぼた 美幸  
小泉 ひろし  
さとう ひろき  
さの 智恵子  
しかはま 昭  
白石 正輝  
杉浦 俊介  
杉本 ゆう  
せぬま 剛  
たがた 直昭  
高橋 まゆみ

高山 のぶゆき  
ただ 太郎  
長沢 こうすけ  
にたない ひとし  
野沢 てつや  
はしもと まごみ  
長谷川 たかこ  
はたの 昭彦  
へんみ 圭二  
まちがわ 尚則  
松浦 かつゆき

松丸 まこと  
水野 あゆみ  
吉岡 しげる  
渡辺 ひであき  
わたなべ 竜二

## 公開された連絡先なし

岡田 将和  
川村 みこと  
佐藤 隆  
佐藤 のぶえ  
富田 けんたろう  
名取 てつろう